

3月1日～3月8日は、「女性の健康週間」です。

なりたい自分をデザインする
丸之内キャリア塾
Marunouchi Career Academy



iu
for women's health

公益社団法人日本産科婦人科学会・公益社団法人日本産婦人科医会
産婦人科医は、女性を守り続けます。
—生涯主治医がいる安心を—

開催概要
プログラム
のご案内

2026年 女性の健康週間 丸之内キャリア塾 スペシャルセミナー

産婦人科医が教える 働く女性のヘルスケア最前線

仕事に、家庭に、プライベートに…と頑張る日々。カラダのことは考えていますか?女性特有の不調や疾患をそのままにせずに、もっと自分らしく過ごすために今からできる“女性のカラダ”的っておきの役に立つ情報を伝えします!

オンラインライブ配信(無料)

事前登録制

申込締切
3月3日(火)12時

日時:2026年 3月3日(火)18:30～20:10

お申込みサイトはこちら ➡ <https://events.nikkei.co.jp/79982/>



18:30～18:35



開会挨拶

日本産科婦人科学会 理事長 万代 昌紀 先生

18:35～18:55



女性の健康と社会～働く女性の視点から～

東京大学 大学院医学系研究科 産婦人科学講座 教授 原田 美由紀 先生

18:55～19:15



女性の健康とキャリア—個人と企業が向き合う視点

富士製薬工業 代表取締役社長 森田 周平 氏

アナウンサー



笹川 友里 氏

19:15～19:35



気になる症状、理解して相談—女性のヘルスケア入門

名古屋大学医学部附属病院 産科婦人科
名古屋大学 大学院医学系研究科 総合医学専攻 発育・加齢医学講座 産婦人科教室 診療教授 中村 智子 先生

19:35～20:05



専門家が応える!働く女性の身体&健康

※申込者から事前にいただいた
ご質問に回答するセッションです。

丸の内の森レディースクリニック 院長 宋 美玄 先生

福島県立医科大学
ふくしま子ども・女性医療支援センター 教授
小川 真里子 先生



アナウンサー

笹川 友里 氏

20:05～20:10



閉会挨拶

公益社団法人 日本産婦人科医会 会長 石渡 勇 先生

※プログラムは変更する可能性がございます。

主 催:日本経済新聞社 メディアビジネス イベント・企画ユニット
共 催:公益社団法人日本産科婦人科学会、公益社団法人日本産婦人科医会
広告協賛:あすか製薬株式会社、久光製薬株式会社、富士製薬工業株式会社

内閣府、日本医師会、日本栄養士会、日本看護協会、日本歯科医師会、日本助産師会、日本薬剤師会、日本学校保健会、全日本私立幼稚園PTA連合会、日本周産期・新生児医学会、
日本女性医学学会、日本生殖医学学会、日本婦人科腫瘍学会、一般社団法人 日本産科婦人科内視鏡学会、日本産婦人科感染症学会、一般社団法人 日本産婦人科乳腺医学会、日本思春期学会、
日本女性心身医学会、日本性感染症学会、日本糖尿病・妊娠学会、日本乳癌学会、日本乳癌検診学会、日本妊娠高血圧学会、日本婦人科がん検診学会、日本母性衛生学会、日本卵子学会、
日本エンドometriosis学会、日本産婦人科手術学会、日本受精着床学会、日本生殖免疫学会、日本婦人科ロボット手術学会、日本母体胎兒医学会、国連人口基金駐日事務所

後援

3月1日～3月8日は、「女性の健康週間」です。

日本産科婦人科学会と日本産婦人科医会は、産婦人科医が女性の健康を生涯にわたって総合的に支援することを目指し、3月3日ひな祭りを中心に、3月8日国際女性の日までの8日間を「女性の健康週間」と定め、2005年にその活動を開始しました。2008年からは、厚生労働省も主唱する国民運動として、女性が生涯を通じて健康で明るく、充実した日々を自立して過ごすことを総合的に支援するため、国や地方公共団体、関連団体が一体となり、さまざまな活動を展開しています。

講師プロフィール



万代 昌紀 先生

日本産科婦人科学会 理事長

これまで40年間、産婦人科臨床医として女性の健康に関わってきた。専門は婦人科がんのロボット手術、免疫療法。現在はAIを用いた女性の健康サポートの研究に注力している。



原田 美由紀 先生

東京大学大学院医学系研究科
産婦人科学講座 教授

2000年東京大学医学部医学科卒業後、ただちに東京大学産婦人科学教室に入局。2007年東京大学大学院医学系研究科修了、医学博士取得。2008年日本学術振興会研究員として米国ミシガン大学に留学。2016年より東京大学医学部附属病院女性診療科・産科/女性外科講師、2020年より東京大学大学院医学系研究科産婦人科学准教授、2025年より現職。生殖医療、女性医学、抗加齢医学、低侵襲手術(腹腔鏡手術、ロボット手術)を専門とし、それぞれ専門医/指導医、技術認定医の資格を持つ。東京大学医学部附属病院において、女性外科科長、女性骨盤センターセンター長として診療に携わるとともに、基礎的、臨床的研究ならびに政策提言を通じて、女性のヘルスケアの向上に尽力している。



森田 周平 氏

富士製薬工業株式会社
代表取締役社長

1998年現サノフィ(株)入社。グラクソ・スミスクライン(株)などを経て、2010年9月富士製薬工業(株)入社。営業部門、SCM部門、経営企画部門の役職を歴任後、2024年10月代表取締役社長に就任。女性医療で独自の強みを持つ同社の成長戦略を推進し、企業価値向上に取り組む。



中村 智子 先生

名古屋大学医学部附属病院
産科婦人科
名古屋大学 大学院医学系研究科
総合医学専攻 病育・加齢医学講座
産婦人科学教室 診療教授

名古屋大学医学部卒業。日本産科婦人科学会専門医・指導医、日本生殖医学会生殖医療専門医・指導医、日本産科婦人科内視鏡学会技術認定医。女性の一生に寄り添い、さまざまなライフステージで直面する悩みに対して、その時々の選択を支える医療に魅力を感じて産婦人科を志す。現在は、子宮筋腫・子宮内膜症などの婦人科疾患の診療に加え、働く女性の健康支援や啓発活動にも力を入れている。



宋 美玄 先生

丸の内森レディース
クリニック 院長

丸の内で働く女性の健康とチョイスをサポートするためにレディースクリニックを運営。性のこと、生理や更年期のこと、妊娠出産のことなど15年以上発信し、性と生殖の健康と権利に関するメディアcrumiiの編集長も務める。2児の母。



小川 真里子 先生

福島県立医科大学
ふくしま子ども・女性医療支援センター
教授

医師3年目より更年期外来に従事し、その後、月經随伴症状など、女性ホルモンに関する女性特有の不調全般に対する診療や研究を行っている。講演会なども積極的に行い、「女性特有の我慢」を一つでも減らすべく活動している。



笹川 友里 氏

アナウンサー

2013年にTBSテレビへ入社し、アナウンサーとして8年間在籍後に独立。2023年NewMe株式会社を共同創業。自分の人生を自分でハンドリングし前向きに生きる女性を増やすべく、ミドル～ハイクラスの女性特化の転職サービス“NewMe Jobs”や、メディア、キャリアイベントを開催。その他、表参道にて女性専用サウナSaunaTherapyを経営、TOKYO-FMにてラジオパーソナリティ、ファッション誌「VERY」でのカバーモデルなど。2児の母。



石渡 勇 先生

公益社団法人
日本産婦人科医会 会長

慶應義塾大学医学部卒業 日本産科婦人科学会専門医、母体保護法指定医、日本臨床細胞学会細胞診専門医。代表を務める日本母体救命システム普及協議会(J-CIMELS)では、母体救命の研修会の実施を通して妊産婦死亡の削減に寄与。石渡産婦人科病院院長、日本産婦人科医会会长。

お問い合わせ

「丸の内キャリア塾 スペシャルセミナー」事務局(株)日経イベント・プロ内
<https://conf1.nep-sec.jp/form/xwboEQ>